

協働意識を高めることによる

道徳教育推進体制の改善・充実

—道徳教育推進教師がかかわる

道徳教育マネジメントの推進—

長期研修員 宮地 真人

道徳教育の現状と課題

- ・道徳の時間が形式化していて、実効性が上がっていない
- ・学年が上がるにつれ受け止めがよくない
- ・教育活動全体を通じた指導や、道徳の時間を含めた相互の関連が十分でない

中教審答申

- ・全校的な指導体制の下での指導計画作りの促進
- ・指導方法、指導体制に関する研究や教材の作成等への取組促進

新学習指導要領

道徳の時間を「要」として学校の教育活動全体を通じて行う
そのためには
「道徳教育推進教師」を中心とした全教師の参画による
推進体制の具体化が必要

体制
整備

授業
改善

連携

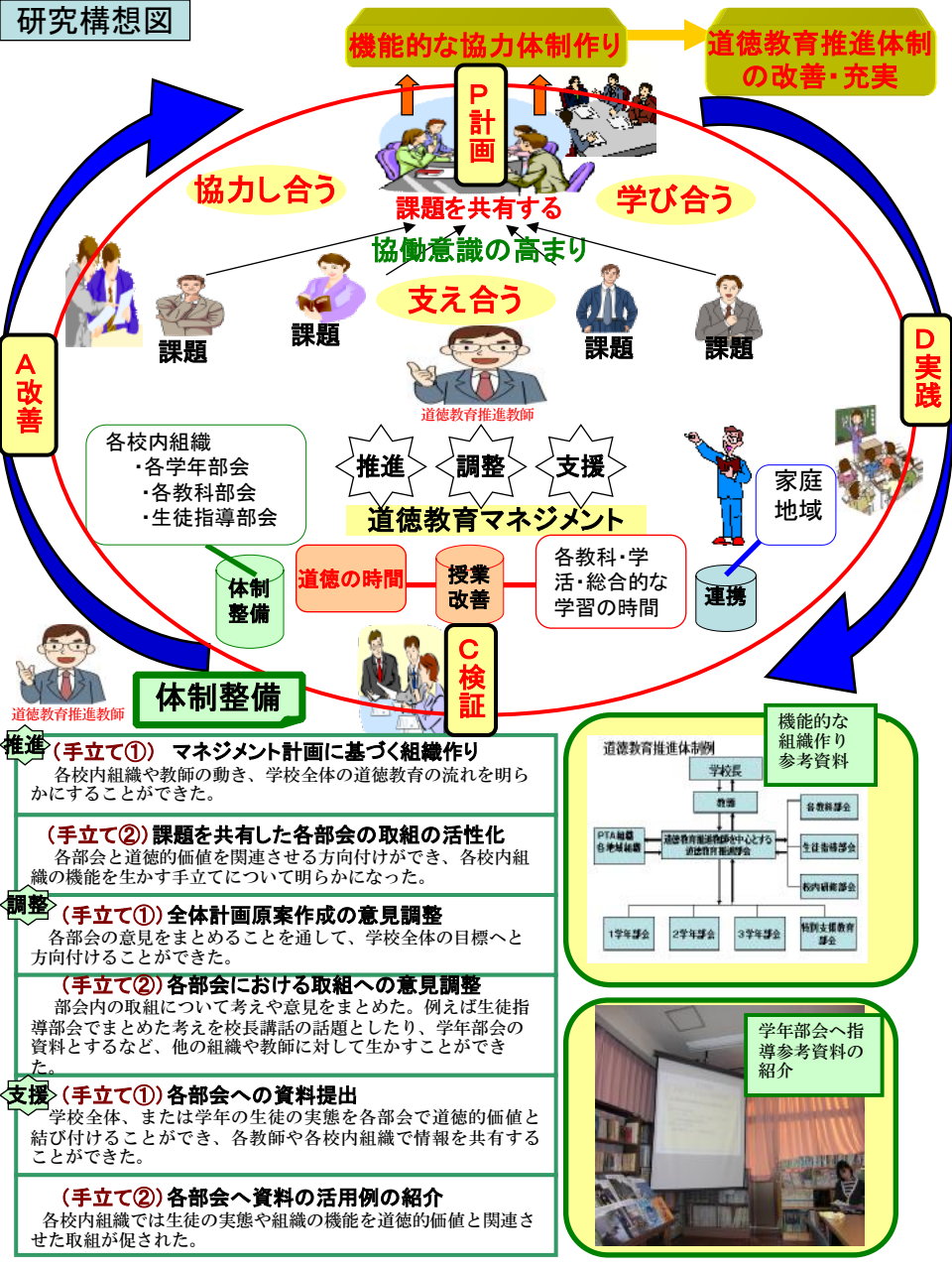
各校内組織がその機能を生かした組織的な取組を推進することによって、学校全体の道徳教育の活性化を図る推進体制を作る。

生徒の実態や指導方法等に対して課題意識を共有し、教師間で協力し合い、支え合い、学び合う機能的な協力体制作りを行うことにより、主体的な授業作りを促進する。

学校と保護者の協力による授業作りを推進し、道徳教育の推進状況等を伝え、保護者や地域の人々と課題を共有することを通して、道徳教育を推進する。

道徳教育推進教師が3つの柱をもとに、組織や計画を整え、道徳の授業を改善し、家庭や地域と連携を図るための具体的な手立てを通して、「道徳教育マネジメント」(道徳教育を推進し、方向性を調整し、教育活動を支援する)を推進する。

教師が協力し合い、支え合い、学び合う協働意識で、機能的な協力体制作り



道徳教育推進教師

推進 (手立て①) マネジメント計画に基づく組織作り
各校内組織や教師の動き、学校全体の道徳教育の流れを明らかにすることができた。

(手立て②) 課題を共有した各部会の取組の活性化
各部会と道徳的価値を関連させる方向付けができ、各校内組織の機能を生かす手立てについて明らかになった。

調整 (手立て①) 全体計画原案作成の意見調整
各部会の意見をまとめることを通して、学校全体の目標へと方向付けることができた。

(手立て②) 各部会における取組への意見調整
部会内の取組について考えや意見をまとめた。例えば生徒指導部会でまとめた考えを校長講話の話題としたり、学年部会の資料とするなど、他の組織や教師に対して生かすことができた。

支援 (手立て①) 各部会への資料提出
学校全体、または学年の生徒の実態を各部会で道徳的価値と結び付けることができ、各教師や各校内組織で情報を共有することができた。

(手立て②) 各部会へ資料の活用例の紹介
各校内組織では生徒の実態や組織の機能を道徳的価値と関連させた取組が促された。

道徳教育推進体制例



学年部会へ指導参考資料の紹介

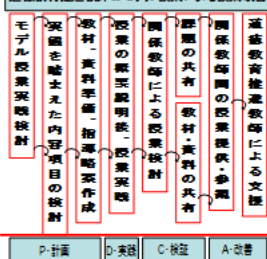




授業改善

P D C A サイクル
に基づく授業作りの
提案

道徳教育推進教師のモデル授業による授業改善



推進（手立て①）授業作りの全体の流れの提案

教師が次にどんなことを行うかについて明らかにし、自分から授業作りに取り組もうとする意欲に結びついた。

（手立て②）課題を共有した授業作りの提案

生徒の実態や指導方法等に対して、道徳的課題を共有する意識の向上が図られた。教師の意欲が向上し、学び合いが促された。

調整（手立て①）ファシリテーター（まとめ役）としての意見調整

「発問を替えたい」という意見に対しては、ねらう価値に沿った発問にするという方向性をもたせた。教師は多様な考えに触れ、考えを深めることができた。

（手立て②）資料・教材の共有化を図る連絡調整

教師間の資料・教材の共有の方向付けが図れたことにより、授業作りにおいて各教師の主体的な資料（ワークシート）、指導略案、発問等の改善が図れた。

支援（手立て①）授業者との思いの共有

道徳教育推進教師が授業における悩み等を共にすることや、授業展開を考えることで、道徳の授業作りに対する教師の意欲の向上が図れた。

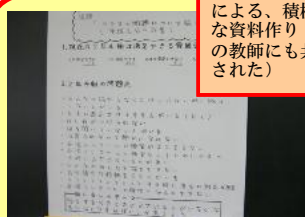
（手立て②）教材等の提供や授業作りへの支援

授業作りにおける教材等を提案し、助言を行うことにより道徳教育に対する各教師の課題が明らかになり、教師の学び合いによる主体的な取組がなされた。

教師との意見交換
や連絡調整



推進教師の支援
による、積極的
な資料作り（他
の教師にも共有
された）

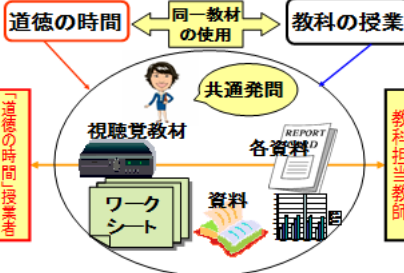


課題を共有した授業作りの実践

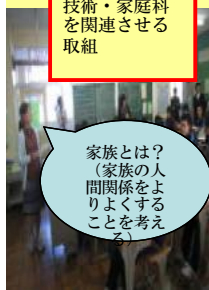
同一教材で授業を
関連させる



授業実践例



道徳の時間と
技術・家庭科
を関連させる
取組



家族とは？
（家族の思いについて）

家族とは？
（家族の人間関係をする
ことを考える）



連携

保護者から寄せられた子供へのメッセージ（一部抜粋）を資料とした。

推進 (手立て①) 保護者へ公開授業の協力依頼

保護者と協力する授業作りを企画し、生徒へのメッセージを道徳的課題を盛り込んだ学校通信で募集し、このメッセージの一つを使い授業を行った。授業後は学校通信を利用し、道徳教育にかかわる内容などを伝えることで、家庭へ向けた課題提供を行った。これらのことは、学校と家庭において生徒の成長に関する課題を共有することにつながった。

調整 (手立て①) 学校通信発信

道徳教育に対する課題を提供し、意見を集約することにより、学校と家庭で双方の思いを伝え合うコミュニケーションを取ることができた。家庭に対して道徳教育への理解が促された。

支援 (手立て①) 道徳実践事例等の掲示

道徳掲示版で道徳教育推進教師が話題や情報提供を行ったことで道徳教育を意欲的に進めるきっかけ作りになった。教師間で教科や学年の枠を越えた道徳実践が促された。

公開授業

道徳掲示版



学校通信に掲載した道徳教育の資料

学校では24の内容の道徳教育を行っています。

1 主として自分自身に関すること

- (1) 生活習慣、健康、安全、防災
- (2) 学習、読書、音楽、芸術
- (3) 生活習慣、健康、安全、防災
- (4) 学習、読書、音楽、芸術

2 主として他の人とのかわり関すること

- (1) 生活習慣、健康、安全、防災
- (2) 学習、読書、音楽、芸術
- (3) 生活習慣、健康、安全、防災
- (4) 学習、読書、音楽、芸術

3 主として自然や崇高なものとのかわりに関すること

- (1) 生活習慣、健康、安全、防災
- (2) 学習、読書、音楽、芸術
- (3) 生活習慣、健康、安全、防災
- (4) 学習、読書、音楽、芸術

4 主として集団や社会とのかわりに関すること

- (1) 生活習慣、健康、安全、防災
- (2) 学習、読書、音楽、芸術
- (3) 生活習慣、健康、安全、防災
- (4) 学習、読書、音楽、芸術

成果 (道徳教育推進教師の観点から)

推進 道徳的課題を共有し、全教師が参画できるような学校としての取組を企画・提案することにより、教師や各校内組織の動きが具体化し、道徳の授業作りや指導体制が活性化し、この成果を教師や家庭へ発信することができた。

調整 各組織の方針や各教師の考え及び家庭からの意見を整理し、まとめ、目標やねらいへと方向付けることにより、教師は多様な考えに触れ、協力し合い、支え合い、学び合う主体的な授業実践への取組が促された。

支援 教師や各部会に情報提供などの支援を行うことにより、教師の主体性を高め、協力的な組織の動きを活性化した。また、授業作りにおいて共に考えることにより、教師の取組を向上させ、意欲を引き出すことができた。

課題

- 協力体制による授業作りを推進するために、教師の研修の機会を増やすことが必要である。
- 道徳教育推進教師は学校における道徳教育を支えるミドルリーダー的存在であるので、絶えず、その力量を高めるために積極的に研修に努め、総合的な人間力を高める必要がある。

問い合わせ先 群馬県総合教育センター

担当係: 研究企画係 0270-26-9212(直通)